
 <b>フードバンクしまね</b> <b>あったか元気便だよ!</b> 	2026.3月発行第33号 フードバンクしまね あったか元気便事務局 ☎ 0852-67-7350
---	--

## 応援ありがとうございました 652世帯2,426人に届けることができました

おかげさまで春休み便は、652世帯、2,426人に約7トンの食品を届けることができました。お米は、冬休み便に続いて2割減となりましたが、JA アグリしまねパールライスさんをはじめ、カンドーフาร์มさんなど、たくさんの方からギリギリまでお米確保に応援をいただきました。

12日の受取日には、大庭公民館、JAしまね津田支店、大輪子どもハウスの市内の3か所の会場で、宍道湖漁協さんからのシジミ200キロ、合同青果さんのジャガイモ、タマネギ300キロ、ニッシングルメビーフさんの冷凍焼き肉用牛肉500キロ、わこうの里さんの大根150キロ、上口福祉会さんの菜の花、ブロッコリーなども、お米やダンボールに入った食品とあわせて手渡されました。16日、17日の両日は、いきいきプラザ体育室で約400世帯への箱詰めと宅急便発送作業を行いました。春休み便では、政府備蓄米600キロを使用しました。

## 私もあったかな♥️気持ちに~ボランティアさん、のべ407人が応援

2月19日から始まった食品チェックや仕分け、パッキング作業には、17日までに、のべ407人のボランティアさんが応援に参加しました。

初めて参加されたAさんからは、「家族の様子を思い浮かべながらメッセージを書かせてもらいました。届け先のご家族に思いが届けばいいと思います。私もたいへんあったかな気持ちになれました。」と感想を寄せていただきました。



あったか元気便は、コープ共済連「ささえあい助成」から助成金と支援をいただいております

## 卒業生16人の参加で「中学卒業をみんなで祝う集い」開催

3月15日、「第2回中学卒業をみんなで祝う集い」を、ホテル一畑平安の間で開きました。この集いは、ホテル一畑さん、NPOスペースさん、BBSさん（島根大学）とフードバンクしまねの共催で昨年から開催しています。集いには、16人の中学卒業生と家族の皆さんをはじめ56人が参加し、ホテル一畑のバイキングでの昼食の後、松浦遥さんのピアノ演奏で始まりました。おかあさん、おとうさんからの贈る言葉、子どもたちからの感謝のメッセージ紹介などがあり、ホテル一畑総支配人の西村彦昭さんから卒業記念品の贈呈がありました。

参加されたおかあさんからは「このような盛大な会とは知らず（中略）驚きと喜びでいっぱいになりました。次年度もその次も『15歳の春』を祝ってあげてください」と感想が寄せられました。



## 卒業式を晴れやかな袴姿で…

「希望するだれもが袴姿で卒業できるように」と古志原地区民生児童委員協議会とフードバンクしまねあったか元気便の共催で「着付け+袴」（無料）が企画されました。

3月17日の古志原小の卒業式当日には、やや緊張した面持ちのふたりの卒業生に朝8時から、ふらここ住宅でボランティアさんによる着付けが行われました。

この取り組みは、同校区にあったか元気便の利用世帯と同地区にある児童養護施設双樹学院の卒業生に呼びかけて行われました。この日、卒業を迎えたSさんは「あったか元気便のみなさん、袴の着付け本当にありがとうございました。クラスの女の子も全員袴を着ていたの、とても安心しました。もう一度着たいです」Yさんからは「友達との最後の思い出にすてきな写真がとれました」と喜びのお便りが寄せられました。

同学院の小林院長さんからも「卒業式では、うちの子が一番立派だった。我慢することが多い子どもたちだけに、こんな機会に発散させてやれてよかったです」と喜びを語っておられました。



みんなの笑顔、みんなで応援 わたしたちは「就学援助世帯」の子どもたちと家族の「食卓応援」を通じて「安心」と「元気」を届けています

## のべ103人が「中学3年生進路・進学『応援塾』」に参加



9月から2月まで毎月1回、島根大学松江キャンパスで開講してきた「中学3年生進路・進学『応援塾』」には、中学3年生23人が受講登録しました。

6回の塾はのべ103人が受講し、島根大学の学生講師ボランティアさんなど127人が学習を応援しました。最終日の2月15日には、学生ボランティアさんから、ひとりひとりに励ましのメッセージが書き添えられたキットカットチョコレートが贈られました。

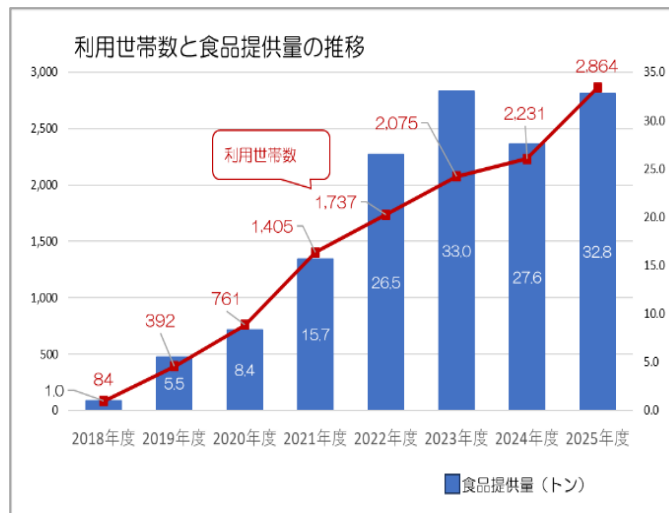
まとめの会では、「講師固定制」や小規模校から参加する中学生が「孤立感」を感じないようなコミュニケーションづくりなど、次回開講にむけた運営改善についても意見を交流しました。



## 共同募金テーマ募金へのご協力 ありがとうございました

1月から3月まで、よびかけた共同募金会のテーマ募金に43人のみなさんから、132万7,083円の募金を寄せていただきました。この募金は全額、フードバンクしまねあつたか元気便の利用世帯にお米や食品の購入費用として使わせていただきます。本当にありがとうございました。

25年度の取り組みは、島根県共同募金会の助成50万円をいただき実行しました。



家計の中で特に切り詰めているものを3つ選んでください。

### 9. 家計の中で切り詰めているもの

項目	人数	割合
食費・日用品	256	97.7%
水光熱費	158	60.3%
携帯など通信費	36	32.8%
車の維持費(車検やローン)	89	34.0%
その他育児のためのお金	73	27.9%
学校にかかるお金	67	25.6%
学校以外の教育費	65	24.8%
税金や保険料	61	23.3%
家賃・住宅ローン	36	13.7%
医療費	35	13.4%
借金やローン	31	11.8%
介護にかかる費用	6	2.3%

## 「副職」で働き、「生活を防衛」が前回比で倍加 ～アンケート調査結果報告会～

大阪大学や島根大学の研究者と協働で11月に行った「あつたか元気便利用者アンケート調査結果報告会」を3月23日に開きました。

この日の報告会には34人が参加、NPO法人子ども支援プロジェクト「コミュニティブリッジ」が行った利用者アンケート調査結果も同法人理事長の毎熊浩一氏（島根大学法文学部教授）から報告されました。

佐藤桃子氏（大阪大学大学院講師）のあつたか元気便利用者アンケート結果報告では、物価高騰が続く中、「生活防衛」として、「食費や日用品を切り詰めている」97.7%、二箇所以上で働く「副職」が前回調査比で2倍以上増加している実態など、利用者から寄せられた「声」を交えて、厳しさが増す暮らしと子育ての実態が、報告されました。



職場の数(2025年と2022年の比較)

	2025(N=237)		2022(N=168)	
1か所	199	84.0%	155	92.3%
2か所	31	13.1%	10	6.0%
3か所以上	7	3.0%	1	0.6%
不明	0	0.0%	26	15.5%

職場の満足度(2025年 %, N=236)

満足していない	34.7
満足している	65.3

- フードドライブ協力団体・企業一覧 28 団体・企業（個人除く、敬称略）
- 大庭公民館、県健康福祉部、島根スサノオマジック、松江キワニスクラブ、新和設備工業、バンブー、わここの里、正建工業、おてらおやつクラブ、善導寺、浄土真宗本願寺派山陰教区、山陰東急会、大東建託パートナーズ、宍道湖漁協、上口福祉会、カンドーフーム、国分西日本山陰支店、合同青果、損保ジャパン、JAくまびき女性部、JAアグリしまねパルライス、三栄ジャンボグループ、損保ジャパン JSA 中核会、島根県労福協、グリーンコープ島根、生協しまね、松江保健生協、地域つながりセンター

- ボランティア参加団体・企業一覧 40 団体・企業（個人除く、敬称略）
- 城北公民館、朝日地区民児協、古志原民児協、津田民児協、大庭民児協、大田市役所、白潟地区社協、白潟地区安全推進委員会、自民党女性局、松江キワニスクラブ、立正佼成会松江教会、ディーキャリア、サポステ松江、日本海観光、テクノプロジェクト、新和設備工業、明和印刷、FUKUにいさん、JAしまねくにびき地区本部、くにびきエコクラブ、山陰合同銀行、全日通、NTT 労組、中国労金、アドブレックス 労組山陰支部、パナソニックインダストリー労組、中国電力労組松江分会、JP 労組松江支部、県職連合、日教組県協議会、松江土建、雇用労島根支部、島根県労福協、松江地区労福協、自治労松江市職ユニオン、労金友の会、全農林松江分会、生協しまね、松江保健生協、おたがいさままつえやすぎ